

地域に深く根ざした医療に
貢献したい

浦幌町立診療所

佐藤 良太郎 (さとう・りょうたろう) 所長

昭和 48 年生まれ。東京都大田区出身。聖マリアンナ医科大学大学院卒業後、同大学病院に勤務。平成 17 年 4 月 1 日から浦幌町立診療所長に就任。専門は消化器外科。妻淳子さんと共に来町。大学時代はラグビー部に所属。趣味はスキーとスポーツ観戦。

町立診療所 新所長に聞く

地域に密着した医療を遂行し、
町民の皆さんのかけがいのな
い命や、健康を守る町立診療
所。その新所長に佐藤良太郎
医師が就任しました。

地域医療等・他の病院との連携

地域の皆さんと共に歩み、より密着した医療を行う地域医療そのものは、聖マリアンナ医科大学（以下「大学病院」）にいましたので、経験としてはあまりありません。しかし、父が開業医として地域医療に携わり、その背中を見て育ってきました。将来は、父の跡を継ぎたいと考えていますので、

地域医療には興味がありました。地域に深く根ざした医療に貢献したいと考えています。

大学病院とは、休日などに当直医を派遣していただくなど連携を図っていきます。派遣していただいた医師と共に私一人の目で判断することなく、患者様に関するさまざまな情報を二人の目で確認して治療にあたります。また、画像転送システムなどを活用して、大学病院の専門医に診断をしていただくなどの連携をします。

十勝・帯広市内の病院との連携については、まだ、多くの先生方とお会いしていませんが、救急医療に関して連携を図らなければな

らないと考えています。病棟な

どの設備がありますが、医者は私一人です。症状の重いものであれば、対応が遅れてしまうこともあります。地域のニーズに応えるべく、他の医療機関とも密接に連携をとり、搬送などの体制を整えていきます。

医療過誤

町立診療所で起きた医療過誤については聞いています。スタッフ、看護師と話し合い、この診療所としての安全管理マニュアルを作成し、確認しながら医療活動に取り組んでいきます。再発防止に向けてあらゆる面での取り組みを強化します。さまざまなことが起きると思いますが、予測できることは可能な限りマニュアルをつくり対応していきます。

浦幌での治療

浦幌町内の病気の傾向については、町の健康管理を担当されている方からデータをいただきました。生活習慣病による心筋梗塞や脳内

出血が多いと聞いています。高血

圧、高脂血症、糖尿病、そういった生活習慣病は若いうちからコントロールが必要で、その手助けが出来ればと思っています。

町立診療所は、しっかりと施設で、環境が整っていますので、リスクのない手術は行いますが、合併症など多少でもリスクのある場合は、帯広市内の病院や患者様と相談して行っています。

北海道・浦幌の印象

札幌にはスキーなどで数度訪れています。浦幌町にも診療所の休日当直医として来町していました。環境が大きく変わりました。自然の豊かさと夜空の星のきれいさに驚いています。

浦幌町立診療所

診療科目	内科・外科・整形外科・リハビリテーション科
診療日	月～金（土・日・祝祭日は休診日）
受付時間	午前 8：30～11：30 午後 13：30～16：30 夜間（火曜日）17：45～18：30 整形外科の診療日は第1・3火曜日の午後
入院病床数	19床
職員数	16人（医師1・技師1・看護師8・看護補助3・事務員3）
日曜救急当番	第2・4・5日曜日

